

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立入間野中学校
校長 熊谷 雅人

印

令和5年度 狭山市立入間野中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 学び合う力、読解力の向上	(2) 文脈を考え行動する力	(3) 気遣いのできる生徒の育成
(4) 無言清掃の充実	(5) 生徒の居場所づくり	(6) ESD教育の研究推進

2 本年度の経営方針

「生徒の知性、品性、感性を磨く学校づくり」を経営方針として、場を読む力、柔軟性、行動力を備えた「気遣いのできる生徒」の育成を目指す。そのために教職員が生徒の強みを引き出し、教職員自身のスキルの強みを指導に生かすとともに組織力の向上にも生かす。

3 自己評価結果

【評価の目安】 A：よくできている（90%） B：概ねできている（85%以上） C：あまりできていない（70%以上） D：できていない（60%未満）

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 教育目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	・「学校だより」、学校運営協議会や保護者会、PTA等、あらゆるチャンネルを通して周知を図る。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	B	・研究発表が一段落したことを踏まえ、改めて校務分掌の整理と業務のスリム化を図る。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	・学校評価とその後の各分科会での協議を踏まえ、教育課程の充実と働き方改革を「両輪」とした教育計画の立案を行う。また、積極的に外部の教育力の活用を図る。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	A	・朝読書、2分前着席、無言清掃等の凡事徹底により、落ち着いた学年・学級の雰囲気をつくる。 ・各学年・学級が足並みをそろえて「気遣い文化」の醸成と共感的人間関係の構築に努める。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	B	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	B	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	・「主体的・対話的で深い学び」、生徒が主役となる授業の実現に向け、授業改善に努める。 ・ICT、タブレット端末の有効活用の実践例を、校内で積極的に共有する。
	19	生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	C	
6 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	・教員が互いに道徳科の授業を見合い、指導のスキルアップを図る。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	B	
7 特別 活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	・SDGsへの取組やいじめゼロ宣言、校則の見直し等について、生徒会・委員会活動を通じて生徒主導の取組を推進する。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	生徒会活動などの特性が理解され、生徒の自己実現がなされたか。	A	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
8 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	・行事の練習や準備等の取組の見直しを図ることにより、一層の効率化と負担軽減を進める。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
9 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	・生徒が、共感的人間関係の中で自己有用感を味わい、自己決定していく喜びを感じられるような「魅力ある学校づくり」を組織的に推進する。 ・さわやか相談室やSC、SSW、適応指導教室等との連携をさらに強めて不登校生徒を支援するとともに、新たな不登校生徒が出ないように、早期対応に努める。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的な生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	39	生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないように努力がなされたか。	B	
10 進路 指導	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	・キャリア教育の視点に立ち、自己の生き方を考えさせる進路指導を行う。
	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
11 保健 ・ 安全 指導	45	家庭との連携が行われたか。	A	・夏季の熱中症対策及び冬季の感染症対策に、引き続き細心の注意と配慮をもって組織的に取り組んでいく。 ・体育委員会や保健委員会等の活動を通じて、生徒が主体となる自己啓発活動を進める。
	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	
12 職員 会議	52	給食指導が適切になされたか。	A	・各分掌や担当における原案作成→企画委員会での検討→修正等を経て職員会議へ提案、といったボトムアップの流れを大切にすることによって、職員の学校運営への参画意識を高める。
	53	開始時刻が守られたか。	A	
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
13 教職 員の 服務	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	・定期の倫理確立委員会に加え、事故防止に向けた情報提供、指導を適宜、行い、意識を高める。 ・教職員の健康増進が教育活動の充実につながることを踏まえ、業務のさらなる効率化に努める。
	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	B	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
14 校内 研修	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	B	・ESDに関する2年間の研究成果を踏まえ、引き続き、すべての教育活動でSDGsを切り口としたESDを推進していく。 ・ESDの視点に立った授業づくり及び授業改善の取組を継続する。
	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	A	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	A	
15 施設 設備	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	・校舎の改修工事が安全に進捗するよう業者との連携を密に図る。 ・アダプトプログラム(まちの美化活動)を、委員会活動から、より多くの生徒が関わる活動へと進化させたい。
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	B	
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	
16 学校 事務	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	・公簿等の管理については、チェックと身届けを適宜行っていく。 ・会計事故の防止のため、現金の扱いを極力しなくてすむ方法を研究する。
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	B	
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
17 PTA 家庭 地域	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	・保護者・地域へ積極的に学校からの発信を行い、教育活動の「見える化」を図ることによって開かれた学校づくりを推進する。
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
	81	保護者会や授業公開等は適切に計画され遂行されたか。	A	
18 部活 動	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	・保護者・地域へ積極的に学校からの発信を行い、教育活動の「見える化」を図ることによって開かれた学校づくりを推進する。
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	B	
19 総 合	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	A	・ガイドラインを踏まえて活動する。
	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	
総 合	87	計画に沿って実施できたか。	A	・これまで積み重ねてきたSDGsへの取組をさらに発展させる。